

旭化成株式会社 守山製造所

〔団体について〕

旭化成（株）守山製造所では、工業用水として井戸からくみ上げた地下水を利用しています。間接冷却水として使用した地下水は、地域の農業用水として供給しています。このような事業、生物多様性（水）と地域との関わりを踏まえて、水に関わる特色のある生物多様性保全活動に取り組んでいます。

【これまでどんな取組をしましたか？】

事業所の敷地内にビオトープを整備し、過去、この地に生息していた絶滅の恐れがある淡水魚「ハリヨ」や、水辺環境の指標種である「トンボ」の保全活動を、滋賀県立琵琶湖博物館や地域と連携し取り組んでいます。



ビオトープ “もりビオ”



もりビオで生まれたハリヨ

【どのような課題を感じていますか？】

守山製造所が保全に取り組むハリヨは滋賀県内でも個体数の減少や、遺伝子の攪乱が見られます。行政や地域の理解を得ながら、自然とそこに棲む生き物の保全に取り組む必要があります。